

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立石川中学校

担当教諭名 弘津 千絵、 中村 雅美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年 9月 17 日 (金) 14 : 50 ~ 15 : 40
対象学年と人数	1～3年生 29名
派遣講師名と出身国	・オレリー ノエル フランス ・田中 アルバ ニカラグア ・山形 正子 コーディネーター
活動の内容	・講師の先生方の出身国についての、文化・教育・習慣・暮らしなどについてお話を聞き、国際理解を深める。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 講師の先生方がとても気さくでお話も上手だったので、生徒たちもお話に関心が入っていました。パワーポイントでのプレゼンはとてもわかりやすく良かったです。また、ニカラグアの伝統的な遊びを体験でき、生徒たちも喜んでいました。
生徒・保護者等参加者の感想	・フランスでは夏休みが3ヶ月あると聞いてうらやましく思った。(1年) ・ニカラグア出身の先生の話聞いて、ラテンの人々の考えなどについて学べた。家族をとっても大切にしていることがわかり、自分も見習わなければならないと思った。(3年)
先生の感想	前回は青年海外協力隊の方にワールドキャラバンを通して来ていただき、とてもためになるお話を聞くことができました。今回は、フランスとニカラグア出身のお二人の講師の先生に来ていただき、生徒たちも話を聞きやすいように二つのグループに分けてお話をさせていただきました。 最初緊張気味だった生徒たちも、講師の先生の明るく優しい人柄にだんだんと心を開き、とても興味深く話を聞いていました。今まで知らなかった他の国の事柄に関して一所懸命メモを取る姿が見られました。とてもよい国際理解の場になったと思います。ありがとうございました。

